

公認心理師試験 科目読み替え対応表

大学院用（2018 年度修了者まで）

2020 年 2 月 18 日現在

大学院における必要な科目（法定科目）		対応する開講科目	
I	1	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論 心身医学特論 神経心理学特論
	2	福祉分野に関する理論と支援の展開	発達心理学特論 障害児者心理学特論
	3	教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学特論 教育心理学特論
	4	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	<u>対応科目無し</u>
	5	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	社会心理学特論
上記 I の法定科目 5 科目のうち、1 を含む 3 法定科目以上が必要			
大学院における必要な科目		対応する開講科目	
II	6	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習 臨床心理査定特論・演習
	7	心理支援に関する理論と実践	カウンセリング特論 臨床心理面接特論 カウンセリング特論・演習 I カウンセリング特論・演習 II
	8	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論 家族臨床心理学特論 グループ・アプローチ特論 コミュニティ・アプローチ特論
	9	心の健康教育に関する理論と実践	<u>対応科目無し</u>
上記 II の法定科目 4 科目のうち、2 法定科目以上が必要			
大学院における必要な科目		対応する開講科目	
III	10	心理実践実習	臨床心理実習 カウンセリング実習 臨床心理実習 1 臨床心理実習 2
上記 III の法定科目 10 の法定科目が必要			

- 1) 上記 I～III までの条件を満たさないと証明書は発行できません。
- 2) 2019 年度以降の入学者は法定科目名の科目の修得が必要です。
- 3) 大学院在籍中に一部科目を修得せず、修了後に科目等履修生で修得した読み替え科目は該当しません。
- 4) 大学院：博士課程前期修了者で科目が揃わなかった方が、博士課程後期に進学し、そこで読み替え科目を修得した場合、修士課程の修得科目と合わせて申請可能。